

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 18 日

評価対象事業		評価者	議会総務課長	茶木 久美子
議会-01	実施事業	議会事務	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 議会総務課 関連課 議事調査課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営 市議会の機能の強化のため
効果	市議会の円滑な運営と活性化を図る

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会における庶務、経理事務を実施した。</li> <li>・議員報酬等及び政務活動費を執行した。</li> <li>・正副議長の公務を支援した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	296,436	276,397	当初予算(千円)	300,817
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	296,436	276,397	一般財源	300,817
事業経費運営	人員配置数	3.5	人員配置数	3.5	
	人件費(千円)	26,850	23,815	人件費(千円)	28,934
	総事業費(千円)	323,286	300,212	総事業費(千円)	329,751
	市民1人当りの経費(円)	1,834	1702	市民1人当りの経費(円)	1,867
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 議会の構成員である各議員の議会活動を維持・継続するため、今後も継続する。	事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 議会の構成員である各議員の議会活動を維持・継続するため、今後も継続する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政務活動費の適正な運用に努めた。</li> <li>・議長会をはじめ、正副議長の公務について、滞りなく行った。</li> <li>・議会活動において、各議員の活動をサポートした。</li> <li>・議会BCPの運用を開始した。</li> </ul>	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理事務の適正運用</li> <li>・政務活動費の適正運用</li> <li>・「第20期・議会運営等に関する検討項目 ※代表者協議項目」のうち、鎌倉市議会業務継続計画(議会BCP)の策定に向け検討を進める。</li> </ul>
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理事務等で遅滞のないよう、進捗管理をおこなうなど、事務処理の適正化に努めた。</li> <li>・政務活動費の適正運用を図るため、引き続きマニュアルの議員への周知を図った。</li> <li>・各派代表者会議の協議を踏まえ、鎌倉市議会業務継続計画(議会BCP)を策定し、9月1日から運用を開始した。</li> <li>・9月と10月の台風の接近に伴い鎌倉市議会業務継続計画(議会BCP)を発動し、鎌倉市議会災害対策会議を開催した。</li> </ul> <div style="float: right;"> <input type="checkbox"/> 解決  <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決  <input type="checkbox"/> 未解決         </div>
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風接近時の対応状況について、委員から課題等、意見を聴取した。今後検証を行い、運用方法の改善を含め、必要に応じて議会BCPの改定を行う。</li> <li>・オンライン会議の導入について検討する。</li> </ul>

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	政務活動費の収支報告書の内容・領収書のホームページの公開(領収書を公開…○、支出金額等の一覧のみ公開…△、未実施…×)									
団体名										
他市実績	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市	横須賀市	逗子市	横浜市	
	△	△	○	△	△	○	○	△	×	

比較事項	市議会業務継続計画(議会版BCP)の策定状況									
団体名										
他市実績	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市	横須賀市	逗子市	横浜市	
	○	×	×	×	×	×	○	×	○	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政務活動費の領収書等のホームページでの公開については、県内他市で公開している市もあるが、現在鎌倉市では、支出金額の一覧表のみを公開している。領収書等の公開については、政務活動費の透明性の向上の1つの方法として検討する。</li> <li>・議会版BCPは、県内他市で策定している市もあり、鎌倉市でも策定した。運営方法等については、令和元年度における運用状況を検証し、改定に向けて検討を進める。</li> </ul>
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
		目標値						
		実績値						
		達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--